

# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的

「吹田市食育推進計画」の策定にあたり、市民の「食」に関する意識や食生活の状況を把握し、計画策定の基礎資料とするため実施しました。

## 2 調査の対象

ライフステージごとに無作為抽出による対象者を選出しました。

調査票	ライフステージ	調査対象
1	妊娠・乳幼児期	幼児（2歳から就学前）の保護者
2	学齢期	小・中学生の保護者
3	青年期	中学卒業から24歳までの市民
	成・中年期	25歳から64歳までの市民
4	高年期	65歳以上の市民

※ 妊娠・乳幼児期及び学齢期については、保護者本人についての質問のほかお子さんについての質問も設けましたが、回答は全て保護者によるものです。

※ 成・中年期のうち、25～39歳を「青年期」、40～64歳を「中年期」とします。

※ 青年期と成・中年期は同じ調査票を使用しました。

## 3 調査方法

郵送による配付・回収

## 4 調査時期

平成21年（2009年）7月15日から平成21年7月31日まで

## 5 調査の配付数と回収数

調査票	ライフステージ	配付数	回収数	回収率
1	妊娠・乳幼児期	1,000	535	53.5
2	学齢期	1,000	483	48.3
3	青年期	1,000	295	29.5
	成・中年期	1,000	444	44.4
4	高年期	1,000	652	65.2
合計		5,000	2,409	48.2

※ 学齢期は、小学生、中学生に分けて分析しているため、子どもの年齢について正しく記入されていない回答については、調査結果に反映されていません。そのため、回収数と集計対象人数に差があります。成・中年期も成年期と中年期に分けて分析しているため、同様です。

## 6 報告書の留意点・見方

- 図表中の「n」とは、集計対象者実数（あるいは該当対象者実数）をさしています。
- 図表の数値（％）は、すべて小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。そのため、単数回答を求めた設問でも、比率の合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を超えます。
- 無記入・回答の読み取りが著しく困難な場合の他に、1つまでの回答を求めている設問に対し2つ以上回答していた場合は「不明・無回答」として処理を行いました。